



TOHOKU
UNIVERSITY

人にやさしく未来をみつめる 東北大学病院

病院だより



TUH
Tohoku University Hospital

contents

- 01 ㊦ てんかん科のご紹介
- 02 ㊦ 星の子保育園が開園しました。
㊦ 第11回宮城県緩和ケア研修会が開催されました。
㊦ 「職場におけるメンタルヘルス講演会」が開催されました。
- 03 ㊦ 高度救命救急センター主催 市民公開講座開催
㊦ 院内がん登録研修会を開催しました。
㊦ 「ひなまつりコンサート」の開催について
- 04 ㊦ イベント告知板
㊦ 平成21年度東北大学病院長賞表彰について
㊦ 日本医療機能評価機構による病院機能評価に向けて⑤



vol. **209**

2010 March

てんかん科のご紹介



平成22年2月に運動機能再建学分野教授として着任しました中里信和です。てんかん学および脳波などの臨床神経生理学を専門としております関係で、着任直後に診療科名の変更をお願いし、平成22年3月より、てんかん科を標榜させていただくことになりました。

てんかんは有病率が約1%で国内には100万人以上の患者さんがいるものと推測されております。医師にとっては「ありふれた疾患」と認識されるため、どうしても気軽に治療されやすく、てんかん専門医に紹介される症例は1割にも満たないと推測されています。一方、てんかんは患者さんや家族にとっては「呪われた病気」と誤解されがちです。本来、専門医が正しく診断し適切な治療を施すことによって、多くの患者さんは普通の人と変わらない生活を送れるはずで、一般医による治療と専門医による治療のギャップを埋めることが、私に課せられた使命と考えております。

私の最初の目標は、てんかんセンターを東北大学病院に設置することです。てんかん診療にはチーム医療が必要と言われております。てんかん科がつなぎ役となって、神経内科、小児科、精神科、脳神経外科、高次脳機能障害科

などの関連各科が連携し、さらには看護師、薬剤師、ソーシャルワーカーなども参加した診療体制の確立が必要です。まさに大学病院でなければできない仕事なのです。

欧米では主要な大学病院には必ず包括的てんかん診療プログラムがありますが、日本では東北大学が初めてのケースになると思われます。これから目指す「東北大学てんかんセンター」が、日本のてんかん診療のモデルになれるよう頑張りたいと存じます。皆様のご協力を心よりお願い申し上げます。

てんかん科長(大学院医学系研究科 障害科学専攻 運動機能再建学分野)

中里 信和